

我がふるさと・わが母校

第68回



長岡市立 関原中学校

生徒会歌

作詞 佐藤 重喜
作曲 小杉 誠治

一 みどりまばゆき中原に

そ、りたらたるわが校舎

輝く我等いつまでも

歓喜の合唱どよめきて

いざやきずかんよき校風

二 古代文化の香も高き

伝統栄える関原に

芽生え雄々しき自治の花

久遠の光ほのぼのと

永く伝えんよき操

三 天地さやけき関原に

秀いでし友は集い来ぬ

希望の足音高らかに

世界の平和きずかんと

血潮は燃ゆる生徒会



校旗



旧校舎 懐かしき校舎

地域と共に歩む関原中学校



関原中学校 校長
井上 恵

この度、歴史ある東京新潟県人会の会報に関原中学校を掲載いただけたとお話をいただき、大変光栄に思います。

私ごとですが、以前に松之山中学校奉職の折りにこの会報に取り上げていただきました。東京で育った私は新潟県の新参者にもかかわらず、このような榮譽に二度までも浴することは不思議と言えば不思議です。新潟県をふるさととし、遠く首都圏に居を移されてもお故郷を思う篤き心がみなさまを結びつけているのだと思います。

その「結びつきのあるところ」が、ここ関原では今なお旧長岡市内の中でも独自性を保って生きています。

「花いっぱい運動」

毎年五月は、関原地区全体で花いっぱい運動が始まります。関原中学校独自でも「花いっぱい運動」に取り組む、全校をあげて校庭の花壇作りをしています。

ですから、恒例の「地区花いっぱい運動」にも、全校生徒と全職員が参加します。

今年度は地区の花いっぱい運動はちょうど成人式を迎えました。

「国土交通大臣表彰」

この成人式と同時に、第二十一回「みどりの愛護」功労者として、関原中学校は国土交通大臣表彰を受賞しました。

これは学校単独で受けることのできるものではなく、何より地域の支えがあり連綿と続いてきた歴史

の裏付けがあつてこそです。

花いっぱい運動と言いますと、最近はおちこちで行われるようになり、しかしポット苗を移植することがほとんどです。今年は学校の温室を地域の方の協力をいただいて、育苗に取り組みました。マリゴールドを種から苗に育て、立派に花を咲かせました。

「関原まじりの参加」

関原には独自の祭りがあります。九月に三日間実施します。ふつう祭りと言いますと、小学生御輿が町内子供会ごとに出ます。中学生は、ギャラリーにまわり、成人して大人御輿に参加する人が出てくるのがほとんどです。

関原中学校は、この祭りに三年生が全員で参加をします。初日のシャギリの練習は学校としてもやります。篠笛と樽太鼓、大太鼓に分かれ、もちろん担当職員も全員練習します。西洋音楽と違い楽譜もありません。商工会青年部のみなさんを見よう見まねで覚えてゆきます。

二日目は、中学生御輿が出ます。これも三年生全員で担ぎます。子供会の時とは大違いで大人サイズの御輿です。ほぼ同じ人数の保護者や職員も同行します。

こちらはシャギリと違い、ぶつつけ本番です。丸一日かけて近隣町内と関原のメインストリートを担ぎます。かけ声や御輿をもむことも、その場で大人が教えてゆきます。お祝儀のいただき方やお礼の方法も、その場で体験的に習ってゆきます。

そうしますと、中学生の表情が「確かに」変わってゆくのです。昨今ではほとんど得ることの出来ない「大きな通過儀礼を経た」姿がそこにあるのです。

私は関原中で二年目となります。昨年度、初めてこの「中学三年生が祭りに全員参加する」ことを体験しました。

今や、子どもが大人へと成長するときに、すなわち「受動的立場」から「能動的立場」へ変わる「通

関原中学校の歩み

昭和	平成
二十二年 五月 一日 三島郡関原町立関原中学校 創立	二年 七月 二十四日 新校舎落成
二十五年 九月 一日 三島郡関原町・王寺川村組合 関原中学校となる。	四年 九月 三日 完全給食開始
二十九年十一月 一日 三島郡関原町立関原中学校となる。	四年 二月 十九日 体育館落成
三十一年 四月 一日 旧日吉村雲出地区関原町合併により、生徒当中学校に就学	五年 三月 八日 校舎改築竣工記念式・祝賀会 挙行
三十二年 四月 一日 関原町長岡市に合併、長岡市立関原中学校と改称	五年 八月 十八日 国旗掲揚塔設置
三十六年 五月 十五日 校旗樹立	五年 八月 二十四日 野球バックネット改修
三十七年 五月 十五日 校歌制定	
四十年 十二月 十五日 校門落成	
四十年 四月 一日 特殊学級開設	
四十年 十月 十八日 校舎増築落成(理科室・家庭科室)	
四十二年 七月 十六日 創立二十周年記念式典挙行、プールサイド装置完成	
五十年 四月 一日 五十五十二年度文部省道徳教育共同推進校	
五十二年 九月 二十四日 県花「花いっぱい」学校コンクール最優秀賞	
六十二年 十月 十三日 創立三十周年記念式典挙行	
六十二年 三月 七日 学校保健優良学校保健教育部で表彰される。	
六十二年 十月 一日 創立四十周年記念式典挙行	
六十二年 四月 一日 六十三・元・二年度県指定小中学校生徒指導連携推進校	



花いっぱい運動



中学3年生の御輿



火焰土器

「先輩に学ぶ会」

過儀礼」がなくなりつつあります。しかし「関原まつりへの中学生全員参加」にはそれがありません。このような通過儀礼（イニシエーション）は現代の日本では、地域だけでも親だけでも学校だけでも保証されないことです。三つが一緒になって初めて実現できることだと思えました。

「先輩に学ぶ会」

関原は文化の根が深く多くの先人の宝があります。それは「縄文人が愛した土地」のおかげでもありません。その中で、関原で生まれ明に渡りその後日本へ戻られた高僧の雪村友梅（せつそんゆうばい）がおられます。友梅の研究者はもちろん学区にお住まいです。三年生は、この方について学びます。

また関原出身で東京で活躍しているシンガーソングライターのT.S.U.N.T.A（ツンタ）さんには十月においていただきトーク&ライブしてもらいました。生徒は興味津々で、聴き入りました。

このような活動も、実はすべて地域のみなさんのご推薦で実現出来ているのです。

「生徒会活動」

以上の活動もほとんどすべて生徒会活動と結びついています。花いっぱい運動の中心はスクールサービズ委員会です。これに加えて、関原中には青少年赤十字の委員会活動をしています。中学校でこれに取り組むところは少ないですが、奉仕的活動を担う委員会が複数あることは本校の特徴です。

関原まつりの特集が三十分番組として去る十月にテレビ放映されました。録画をして生徒にも視聴してもらいました。

学年全体で見た二年生に、視聴後「関原が好きな人？」と問いかけると、いっせいに「はい」と子どもたちの手が挙がりました。

これもみな、地域に支えられているのおかげです。今後とも地域と力を合わせ、関原の子どもたちが真に内面から豊かに育つようことを念願しています。

東京関原会のみなさまにおかれましても、ますますご健勝で、そして関原の子どもたちを遠くから応援して下さいようお願いして一文をお届けします。

二十二年	五月十三日	第二十二回「みどりの愛護」功 労者として国土交通大臣表彰
二十二年	九月十六日	第十四回県花いっぱいコンク ール優秀受賞
二十二年	十月八日	第十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
二十一年	九月十六日	第十四回県花いっぱいコンク ール優秀受賞
二十一年	十月五日	第十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
二十年	十月八日	第十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十九年	十月九日	第十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十九年	十月八日	第十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十八年	十月七日	第九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十八年	十月四日	第八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十七年	十一月八日	第七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十六年	九月十四日	第六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十六年	九月十日	第五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十五年	九月十日	第四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十五年	九月三日	第三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十四年	九月一日	第二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十三年	九月一日	第一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十三年	六月十六日	前庭舗装道路側溝完成
十三年	六月十六日	西側整備及び門柱設置工事完了
十三年	八月十四日	プール新築完成
十三年	十月三日	ナイター照明完成
十三年	十月三日	創立五十周年記念式典挙行、 温室「四季の家」・ソーラー時 計設置
十二年	六月一日	アラーム設備設置
十二年	九月一日	インターネット接続
十二年	九月三日	駐車場・裏門道路舗装完成
十二年	九月十日	事務用C.P.プリンター入れ 替え
十二年	九月十日	冷房設備監査（校長室、教務 室、男女更衣室、図書室、保 健室、管理員室、給食休憩室） グラウンド防球ネット工事監査
十二年	十月十二日	新潟県中越地震により体育館 に避難所開設（～十月三十日）
十二年	十月十二日	職員玄関に電気錠が設置さ れ、遠隔操作が可能になる。
十二年	十月二十日	花いっぱいコンクール優秀受賞
十二年	十月二十日	創立六十周年記念式典及び講 演会
十二年	十月四日	体育館床塗装工事完了
十二年	十月八日	第四十回県花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	十月九日	第三十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	十月八日	第三十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	十月五日	第三十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	十月四日	第三十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	十月三日	第三十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	十月二日	第三十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	十月一日	第三十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月三十日	第三十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十九日	第三十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十八日	第三十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十七日	第二十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十六日	第二十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十五日	第二十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十四日	第二十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十三日	第二十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十二日	第二十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十一日	第二十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二十日	第二十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十九日	第二十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十八日	第二十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十七日	第十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十六日	第十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十五日	第十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十四日	第十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十三日	第十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十二日	第十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十一日	第十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月十日	第十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月九日	第十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月八日	第十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月七日	第九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月六日	第八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月五日	第七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月四日	第六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月三日	第五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月二日	第四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	九月一日	第三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月三十一日	第二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月三十日	第一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月二十九日	創立六十周年記念式典挙行
十二年	八月二十八日	温室「四季の家」・ソーラー時 計設置
十二年	八月二十七日	ナイター照明完成
十二年	八月二十六日	プール新築完成
十二年	八月二十五日	西側整備及び門柱設置工事完了
十二年	八月二十四日	前庭舗装道路側溝完成
十二年	八月二十三日	インターネット接続
十二年	八月二十二日	アラーム設備設置
十二年	八月二十一日	事務用C.P.プリンター入れ 替え
十二年	八月二十日	冷房設備監査（校長室、教務 室、男女更衣室、図書室、保 健室、管理員室、給食休憩室） グラウンド防球ネット工事監査
十二年	八月十九日	新潟県中越地震により体育館 に避難所開設（～八月三十日）
十二年	八月十八日	職員玄関に電気錠が設置さ れ、遠隔操作が可能になる。
十二年	八月十七日	花いっぱいコンクール優秀受賞
十二年	八月十六日	創立六十周年記念式典及び講 演会
十二年	八月十五日	体育館床塗装工事完了
十二年	八月十四日	第四十回県花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月十三日	第三十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月十二日	第三十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月十一日	第三十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月十日	第三十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月九日	第三十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月八日	第三十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月七日	第三十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月六日	第三十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月五日	第三十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月四日	第三十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月三日	第二十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月二日	第二十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	八月一日	第二十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月三十一日	第二十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月三十日	第二十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十九日	第二十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十八日	第二十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十七日	第二十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十六日	第二十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十五日	第二十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十四日	第十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十三日	第十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十二日	第十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十一日	第十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月二十日	第十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十九日	第十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十八日	第十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十七日	第十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十六日	第十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十五日	第十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十四日	第九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十三日	第八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十二日	第七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十一日	第六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月十日	第五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月九日	第四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月八日	第三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月七日	第二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月六日	第一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	七月五日	創立六十周年記念式典挙行
十二年	七月四日	温室「四季の家」・ソーラー時 計設置
十二年	七月三日	ナイター照明完成
十二年	七月二日	プール新築完成
十二年	七月一日	西側整備及び門柱設置工事完了
十二年	六月三十日	前庭舗装道路側溝完成
十二年	六月二十九日	インターネット接続
十二年	六月二十八日	アラーム設備設置
十二年	六月二十七日	事務用C.P.プリンター入れ 替え
十二年	六月二十六日	冷房設備監査（校長室、教務 室、男女更衣室、図書室、保 健室、管理員室、給食休憩室） グラウンド防球ネット工事監査
十二年	六月二十五日	新潟県中越地震により体育館 に避難所開設（～六月三十日）
十二年	六月二十四日	職員玄関に電気錠が設置さ れ、遠隔操作が可能になる。
十二年	六月二十三日	花いっぱいコンクール優秀受賞
十二年	六月二十二日	創立六十周年記念式典及び講 演会
十二年	六月二十一日	体育館床塗装工事完了
十二年	六月二十日	第四十回県花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十九日	第三十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十八日	第三十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十七日	第三十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十六日	第三十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十五日	第三十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十四日	第三十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十三日	第三十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十二日	第三十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十一日	第三十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月十日	第三十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月九日	第二十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月八日	第二十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月七日	第二十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月六日	第二十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月五日	第二十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月四日	第二十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月三日	第二十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月二日	第二十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	六月一日	第二十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月三十一日	第二十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月三十日	第十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十九日	第十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十八日	第十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十七日	第十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十六日	第十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十五日	第十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十四日	第十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十三日	第十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十二日	第十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十一日	第十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月二十日	第九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十九日	第八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十八日	第七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十七日	第六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十六日	第五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十五日	第四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十四日	第三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十三日	第二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十二日	第一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	五月十一日	創立六十周年記念式典挙行
十二年	五月十日	温室「四季の家」・ソーラー時 計設置
十二年	五月九日	ナイター照明完成
十二年	五月八日	プール新築完成
十二年	五月七日	西側整備及び門柱設置工事完了
十二年	五月六日	前庭舗装道路側溝完成
十二年	五月五日	インターネット接続
十二年	五月四日	アラーム設備設置
十二年	五月三日	事務用C.P.プリンター入れ 替え
十二年	五月二日	冷房設備監査（校長室、教務 室、男女更衣室、図書室、保 健室、管理員室、給食休憩室） グラウンド防球ネット工事監査
十二年	五月一日	新潟県中越地震により体育館 に避難所開設（～五月三十日）
十二年	四月三十日	職員玄関に電気錠が設置さ れ、遠隔操作が可能になる。
十二年	四月二十九日	花いっぱいコンクール優秀受賞
十二年	四月二十八日	創立六十周年記念式典及び講 演会
十二年	四月二十七日	体育館床塗装工事完了
十二年	四月二十六日	第四十回県花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月二十五日	第三十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月二十四日	第三十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月二十三日	第三十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月二十二日	第三十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月二十一日	第三十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月二十日	第三十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十九日	第三十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十八日	第三十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十七日	第三十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十六日	第三十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十五日	第二十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十四日	第二十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十三日	第二十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十二日	第二十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十一日	第二十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月十日	第二十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月九日	第二十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月八日	第二十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月七日	第二十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月六日	第二十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月五日	第十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月四日	第十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月三日	第十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月二日	第十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	四月一日	第十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月三十一日	第十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月三十日	第十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十九日	第十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十八日	第十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十七日	第十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十六日	第九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十五日	第八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十四日	第七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十三日	第六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十二日	第五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十一日	第四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月二十日	第三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月十九日	第二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月十八日	第一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月十七日	創立六十周年記念式典挙行
十二年	三月十六日	温室「四季の家」・ソーラー時 計設置
十二年	三月十五日	ナイター照明完成
十二年	三月十四日	プール新築完成
十二年	三月十三日	西側整備及び門柱設置工事完了
十二年	三月十二日	前庭舗装道路側溝完成
十二年	三月十一日	インターネット接続
十二年	三月十日	アラーム設備設置
十二年	三月九日	事務用C.P.プリンター入れ 替え
十二年	三月八日	冷房設備監査（校長室、教務 室、男女更衣室、図書室、保 健室、管理員室、給食休憩室） グラウンド防球ネット工事監査
十二年	三月七日	新潟県中越地震により体育館 に避難所開設（～三月三十日）
十二年	三月六日	職員玄関に電気錠が設置さ れ、遠隔操作が可能になる。
十二年	三月五日	花いっぱいコンクール優秀受賞
十二年	三月四日	創立六十周年記念式典及び講 演会
十二年	三月三日	体育館床塗装工事完了
十二年	三月二日	第四十回県花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	三月一日	第三十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月二十八日	第三十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月二十五日	第三十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月二十二日	第三十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月十九日	第三十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月十六日	第三十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月十三日	第三十三回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月十日	第三十二回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月七日	第三十一回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月四日	第三十回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	二月一日	第二十九回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	一月二十八日	第二十八回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	一月二十五日	第二十七回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	一月二十二日	第二十六回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	一月十九日	第二十五回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	一月十六日	第二十四回市花いっぱいコンク ール優秀受賞
十二年	一月十三日	第二十三回

生徒会歌作詞して



東京関原会 会長
佐藤 重喜

昭和二十六年秋、「正式な校歌を制定する」となると時間がかかる、それよりも王寺川地区との合併や新校舎の建設などで盛り上がる今、みんなが肩を組んで気軽に歌える生徒会歌を先に作ろう。そして親しみやすくする為、詞は生徒から募集しよう」ということで公募になった。と私はその背景を聞いています。

当時、文学少年(?)で新潟日報の子供新聞などによく投稿、入選していた私はこの詞づくりに心血を注ぎ、おかげさまで当時二年生だった私の作品が当選、となった次第です。

その詞に新潟大学の小杉先生が曲をつけて下さいました。その小杉先生が、生徒会歌発表会の時にわざわざ来校され、自ら指揮をとって下さったのですが、その時、壇上から突然「作詞した佐藤君、ここに上がって来て下さい」と呼びかけられ「大変いい歌が出来ました。この歌のように元気に勉強して、新しい日本を築くために頑張ってください」といった趣旨のことをおっしゃり、大きな手で握手して下さいたのを今でも鮮明に覚えています。

この生徒会歌は、昭和三十七年(一九六二)五月に校歌が制定され

るまでの十二年間、生徒にとつて校歌と同じ価値としてとらえられ愛唱された。

関原中学校(わが母校)の思い出



元市議・県議
関原ミニユナイテッド会長
太田 修

私が関原中学校に入学したのは昭和三十六年であった。この頃、佐藤重喜先輩の生徒会歌作詞のとおりに「緑まばゆき中原に、そそり立ちたる我が校舎」で、まわりには建物は何もなく、畑の真ん中にぽつんと大きな木造校舎があった。実に牧歌的な時代であった。

先生方もユニークな先生が多く、十年選手のため、先輩がつけた諺名で呼んで、おまけに「賛え歌」で紹介したものだ。

東京では安保だ、高度成長だと賑やかだったのが、ようやく普及したテレビにかじりついていて、「兼高かおるの世界の旅」や「ケネディ大統領」の暗殺で世界は広いものだ、大きいものだ気がついた。先輩たちは、集団就職で東京へ、あるいは高校へと出発していったので、私たちも疑問なく東京へ行くものだと信じていた。

今から思えば、懐しく楽しく、夢のような貴重な時代であった。

母校の思い出

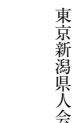


同窓会長
本間 茂博

当時校舎の周りは畑と沼地だけ。冬になると登下校は馬の背の雪道を長靴とマント姿。時々道を踏み外してズボズボと雪の中へもぐってしまふ。朝各自持参の弁当を金網底の箱に入れ、用務員室の炭火暖房機で暖めておく。昼当番が運んでくると、各自の弁当の匂いが空腹に輪を掛ける。夏はプール。男子は全員赤禪姿。石地の臨海学校も同じ。さすが女子は紺色の水着着用。思い出の写真はセピア色。スポーツは三島郡時代籠球(バスケットボール)が強かった。

昭和三十二年から長岡市へ編入。長岡の中学校はどの種目も強かった。しかし陸上だけは、各部からの寄せ集めだったが、各年次代共大活躍したはず。秋は運動会。当時の生徒会歌にあるように四百人以上の生徒で盛大だった。文化祭は作品展や勿論劇もあり、苦勞もあり楽しみでもあった。三年の冬になると受験する生徒は重苦しかった。一方東京へ就職する生徒は金の卵と成り、就職列車に揺られて行った。嗚呼。もうじき校庭の桜も変わりにくく咲く。

凝縮の一年



東京新潟県人会 副会長
廣川 高志

昭和三十三年市町村合併で(旧三島郡日吉村雲出)雲出地区が関原町に編入され、昭和三十二年四月、日吉中学校から関原中学校に三年生として転校した。関原中学校まで自宅から約2km。中原に立つ関原中学校の校舎、広いグラウンドの前には畑、前校とはまるで違う風景であった。朝礼では全校生徒で「生徒会歌」を歌い始業に入った。校歌が制定された昭和三十七年まで生徒会歌が愛唱され、今日でもクラス会等では斉唱し中学校時代を懐かしんでいる。

転校してまもなく友だちと校庭の前の畑で、素焼の土器のかけらを拾い集めた記憶が残っている。近辺は土器の宝庫であった。昭和十一年十二月三十一日、あの有名な縄文時を知る「火焔土器」が発掘された。校舎から数百メートルの僅かな距離の発掘地に新潟県立歴史博物館、馬高縄文館がある。昨年(平成二十一年九月)オープンした馬高縄文館には重要文化財に指定されている「火焔土器」や遺跡出土品が収蔵保管されている。縄文時代の歴史ある関原の文化に触れ、伝統を学んだ凝縮された一年であった。

地区県人会・郷人会だより

東京浦川原会 第十回ふるさと訪問旅行 「ふるさと浦川原近隣の里山を訪ねて」

◎小菅 俊信 会長

☎〇四三―二三七―五六二五番

昨年創立二十周年を迎えた東京浦川原会は、秋も深まった十月十六日・十七日の両日、会の恒例イベントとなったふるさと訪問ツアーを実施。一行十六名が午前十一時にほくほく線の「うらがわら」駅に集結し、上越市浦川原区総合事務所のマイクロバスで各地を案内して頂いた。



当日参加された皆さん

最初は駅前の一等地に分譲開始した土地の紹介があり、都心に比べたら羨ましい限りの価格と広さであった。恨めしく思いながら近くの五百年の歴史を持つ名刹「顕聖寺」を訪れ、旅程の安全を祈願してから総合事務所へ向かった。休日にも関わらず荒木所長から浦川原地区の現状と将来構想を熱心にお話して頂き、昔私たちがこの地で育った頃の賑やかさを感じ出し、その変わり様に胸が痛んだ。

バスは一路、「安塚フラワロード」を通り、道の駅・雪だるま物産館に到着。ここで昼食休憩を取り、美味しいおろし蕎麦と薬膳天ぷらに舌鼓を打った。続いてバスは東頸城の里山を縫う様に走ること四十分、頸城平野に面した次の見学地「岩の原葡萄園」に到着。ここは国産ワインの歴史に多くの足跡を残し、日本のぶどうとワインの父と称された「川上善兵衛」が、百二十年前に開

設したワインのメッカで、一行は雪室・貯蔵庫などを見学と、ワインの試飲と土産品の面白い物に興じた。

いよいよ本日の宿に向かって出発。場所は浦川原で十年前に閉校となった月影小学校の校舍を活用している。ここでは毎年楽しみにしている田舎体験が有り、今回は藁と紐を使ったコースター作りに全員が幼少の頃を思い出し、楽しみながらチャレンジした。

夕方からは、地域住民とのふれあい交流会が「霧ヶ岳温泉ゆあみ」にて開催、総勢五十五余名の参加で大いに盛り上がり、昔話や近況を語り合い、一同は故郷の美酒に酔い痴れて秋の夜長を満喫した。

翌日は晴天に恵まれた朝八時「月影の郷」の皆さんに別れを告げ、バスは次の目的地へ出発。約一時間バスに揺られ、パラグライダーや名水

で人気の「尾神岳」展望台に到着。絶景の日本海や長野の山々を眺め、それをバックに記念撮影。山を下り、次の目的地は山間部の大島区へ向

かった。旧家「庄屋の家」で地元産の野菜をふんだんに使った昼食に堪能した。近くの「板山不動尊」では、地元ガイドさんの方言と機知に富んだ案内で爆笑する場面も多く一同大いに感嘆した。最後の訪問地は、松之山温泉近くの丘陵にある樹齢八十年ほどのブナ林「美人林」へ行き、森閑とした林の中でガイドさんが奏でる「ふるさと」等オカリナの生演奏を自然のコンサートホールの中で鑑賞でき、全員が大いに感動した素晴らしいひと時であった。

最後に地元JA物産館で田舎のお土産を買い、午後三時過ぎにほくほく線でふるさとを後にした。一行は楽しい思い出創りができました。

(実行委員長 和栗 時男 記)

東京松代会二〇周年記念 一泊バスツアーに参加して

◎柳 政直 会長

横谷温泉郷は人里離れた山あいの傾斜地にあり、横谷旅館が一軒だけの温泉郷で周りには人家は無い。訪れた日は 十月十七日午前八時を過ぎる頃、私達にとつて心の故郷でもある上野駅の公園口改札に、遙か昔に越後よ



白樺湖にて20周年記念旅行 平成22年10月17日

錦秋の紅葉にはまだ早く、僅かに「ななかまど」が黄色く色づいて秋の気配を感じさせられてくれた。露天風呂に入り夜空を見上げれば、山あいに満天の星と更科の煌々たる月を観ることも出来た。十月十七日午前八時を過ぎる頃、私達にとつて心の故郷でもある上野駅の公園口改札に、遙か昔に越後よ



大広間も満員の大会

と黄金の湯があり、極楽楽の至福気分となります。夜は大広間での大宴会、山海の珍味が並び、信州蕎麦の実演の蕎麦が振舞われまし



食事もたいらげご満悦

ずおさまる）を祈念する。貧乏神たたきのめして福を呼び万治まる信濃路の旅 夢曉 次に、野沢菜センターで最後の買物をする。帰りはビンゴゲームで盛り上がり、バスは一路東京へと走り上野には五時到着しました。東京松代会が結成されて二〇年が経ち、多くの先輩たちのご苦労に感謝しつつ、新たな思い出を作ることが出来ました。ご同行の皆様、幹事の皆様お疲れ様でした。そして、関係の皆様ありがとうございました。

翌朝はまず、味噌工場を見学。工場の一角にある「貧乏神」に詣で、備え付けの槌で柱を叩いて蹴って豆を投げつける。その隣の福の神の「おかめ神社」でお面の頬を撫でる。昼食はパン工房の十種のパンの食べ放題でしたが、小生は特別に付いたご飯も食す。 諏訪神社 下社春宮では御柱を見上げて参拝する。その脇の万治の石仏にも参拝、慣例の万治（よろ

夢曉

越後より出でて東京松代会集いて 巡る信濃路の旅 夢曉 (東京松代会 山平地区 高橋 徳次 寺田(沢))

草加ふささら祭「新潟ふれあい店」出店 草加地域新潟県人会

◎三留 傳太郎 会長

十一月三日(祝)草加地域新潟県人会では、恒例の草加ふささら祭に新潟ふれあい店を出店した。

当日は、恒例による魚沼コシヒカリのお握り、新潟名物「けんちん汁」「笹だんご」などを販売した。

今年も千個の笹だんごを売り、お握りやけんちん汁も飛ぶ様に売れた。

全国的猛暑により、魚沼コシヒカリも品質は落ちたものの、味に変わり無く、好評だった。

今日は、一日限りの出展であったが、幸い晴天に恵まれ、松並木沿いの綾瀬川左岸広場は、今年全面的に



ふれあい店出店風景

整備され、多くの出店や、催し物が行われた。前年から草加の名物として行われている「草加よさこいソーラン」も行われ、終日盛況だった。当日は、草加さわやかさんコンテストも実施され、今年度の「さわやかさん」も決定した。当日は、会員五十名程が参加。お握り作り、けんちん汁作り、笹だんごや物産の販売など、全員が協力して実施した。本会では、去る十月三日、バス一台で、茨城県五浦の岡倉天心や、新潟県赤倉の岡倉天心堂を訪ねる旅を実施した。

最近では米価が下落する中、農家の支援のため米の消費拡大に貢献したいと張り切っている。

(樋口 記)

頑張ろう弥彦！第二十九回東京弥彦村人会総会開催

◎堀 優 会長

十一月七日、ホテル聚楽で、第二十九回東京弥彦村人会総会・懇親会を開催し、来賓、会員七十名が一堂に会し、健勝をたたえあいました。

大谷村長はご挨拶の中で、観光弥彦の秋の素晴らしさ、菊花展、紅葉谷を紹介し、村人会の村の行事支援

(敬老会での中国人プロ歌手の紹介、幹事長夫人による小学生への講演…新潟日報報道)を高く評価して頂きました。また弥彦神社宮司永田様からは、五十周年を迎えた菊祭りの状況と、満

月の夜に行われた幻想的かつ厳粛な灯籠神事に、村人会からも参加して

いただいたことに対する謝

意が表明されました。明年の灯籠神事には近郊の郷人会の皆様も是非一緒に田楽灯籠を持ってみませんか！

さて今回は歌舞音曲を止め、長年にわたり中国を見てきた会長による「中国の近未来」についての講話がありました。中国の政治改革、社会改革は実現するのか、経済の継続発展は？増加する日本滞在の中国人との呼びかけに、全員が身近な出来事として聞き入っていました。ひるがえって日本の近未来や如何に！と問われると、この課題の重大さこそ喫緊の問題として皆さんの胸中に浮かんだのではないのでしょうか？



当日出席された皆さん

懇親会は抽せん会やらカラオケで盛り上がり、次回三十回目の総会での再会を期し、午後三時半にお開きとなりました。楽しくもあり、心に残った会合でした。

(村人会会員 Q 生)

東京えちご・雪椿の会 秋季総会及び忘年会開く

◎ 佐伯 益一 会長

平成二十一年四月、箱根湯本吉池旅館で発足した「東京えちご・雪椿の会」の本年最後の総会及び忘年会を、十一月十六日午後五時半思い出の吉池旅館に各々小田急、マイカーを利用して、会員二十三名が参加し開催した。

冒頭の会長挨拶では謝辞のあと、雪椿の会の性質、あり方、県との協調に付いて会場割れんばかりの大声で説明。横野相談役から下越連合・総会への謝辞のほか雪椿の会に期待の挨拶。川村相談役からは挨拶のあと、次年度の旅行会は「佐渡へ」との提案があり、殆んどが賛成。後日計画を練ることとなった。続いて、当日誕生日を迎えた和久井博会員にお祝いの花束を贈り、佐藤会員の乾杯音頭で開宴となる。

宴はもう最高。賑やかな笑い、蟹の横這い宜しくお酌に回る人、カラオケに精を出す人、大機嫌の佐伯会長は年に一度のお披露目だと珍芸の発表、モウ減茶苦茶でしたワ!



当日出席された皆さん

やがて時間ですからと宴会場を出され、大部屋に集まり二次会開始。まだ騒ぎ足らぬとカラオケバーでまた飲む。七十年くらい前の歌が次から次へと出てくる。七十歳を遥かに超えた歳とは、とても思えぬ元気の良さだ。いったい寝たのは何時だったのか? 翌朝の朝食では皆ケロリとしている。

十時にチェックアウト。みんな元気に帰路に着く。次が又楽しみである。

(事務長 星野 憲二 記)

● 思い出写真館⑥⑧ ●

2004年に東京広神会は、広神中学校2年生の修学旅行時に、自主職場訪問を組み入れ協力した。

この写真は東京電力梶品川火力発電所を案内したときのものである。

生徒たちは都心に近い火力発電所から、電力を供給している現場をはじめ見て、目を丸くしながら熱心に説明を聞いていた。

強く印象に残った思い出だった。

(東京広神会 矢久保 篤司)



巨大なタービン・発電機の前で (前列左: 天野東京広神会副会長、前列右端: 筆者)

彼（渋谷）に初めて会ったのは、県立巻高等学校に入学した時である。昭和二十六年四月のことだから、もうかれこれ六十年になる。

一・二年生の時に同じクラスで、三年生になって分かれた。私は文科系で、彼は理科系だったからだと思ふ。が、そのところが案外、彼と私の接点だったかも知れない。

彼は、体育祭になるとグラウンドの音響設備をセッティングしてアンブの前に陣取り、私はそのすぐ近くでマイクを握っていた。彼に言わせると「短距離走やリレーの実況までやっていたよ」と、こうなるのだが「そこまでやったかなあ」と私の記憶は曖昧である。しかし、彼が断言するのだから、そうなのだろう。

彼は物理部に所属する典型的なB型人間で、私は新聞部と弁論部を股掛けしていたA型と、まるっきり違っていたのに気は合った。



巻高物理部の面々（渋谷氏は前列左端、昭和28年）

西蒲原はひとつだよ

それでいて、卒業してからは音信なしのさっぱりであった。久しぶりの邂逅が同窓会だったのか、郷人会に関わり始めてからだったか、私の方では判然としない。

今は、旧西蒲原郡の吉田町と巻町、それぞれの郷人会長同士となり、首都圏えちご蒲原会でも一緒だから、何か

といえば顔を合わせ、行動を共にすることも多い。

だが、プライベートなことについてはお互い踏み込むことがないから今回の取材では、卒業後のことを初めて聴くことになった。

「大学へ行きたかったが、金の中からなんとか行ってくれと親父に言われたからなあ」と、彼はまず言った。家は、三町五反の田圃を持つ専業農家で「大学までやるには田んぼの三枚ぐらい売らなきゃならん」と



田吉 久彌 さん
会 長 渋谷 久彌 さん
首都圏えちご蒲原会

いうことであつたらしい。

五人兄妹の四番目で、所謂かすおじ（男兄弟の中では末弟）だったが、中学までは「優等生だった」から、兄弟の中で初めて高校へ行かせてもらった手前、それ以上を望むのは無理であった。

そこで入学したのが、東京の中野高等無線（二年課程）で、「陸軍のスパイ学校だったところ」らしい。

高校時代には「新潟県で初めてテープレコーダーを作ったのは俺たちだ」と言い、物理部の一年分の予算を使い果たして校長室に呼び出され、結局町の電器屋に買い取ってもらったという猛者連中（この中には東京分水会の元会長で現顧問の村上昭治、分水商工会議所会頭の田中公一ら同期生がいる）の一人だ。

卒業後は、自衛隊やその系統の病院を主な得意先とする安田電器産業に入社、全国を十年余まわった。

その後、中野時代の友人の会社を



勇退した小林前市長と（今後は鈴木現市長を囲む会となる）

経て昭和四十年代の末に独立（音響電気工業）、平成十二年まで一本道を走り続けたのだと言う。

今は、「昔の弟子」の会社で「松戸の所長というところかな」と言いながら現役続行を主張。その一方で燕市同士となった東京分水会と吉田会を鈴木力（つとむ）市長の下でより友好に結びつけ、旧西蒲原郡郷人会の連合体・首都圏えちご蒲原会の活動パワーストリーに結集したいと、自らコネクター役をもって任じる熱血漢である。

（広報 池田 孝一郎）

市町村だより あれこれ

新潟県下の市町村広報その他から⑨⑧

APEC(横浜)に燕のグラス

APEC(アジア太平洋経済協力会議)の締め括りとなる首脳会議は、十一月十四日、貿易、サービス、資本移動の障壁を減らし、参加二十一国・地域を「緊密な共同体」にすることを旨とするという「横浜ビジョン」を採択して閉幕した。

そして、その日の各国首脳による昼食会の席上、冒頭の乾杯が本県燕市で作られたチタン製のワイングラスで行われ、出席した方々に贈られた。



燕から世界へ(写真提供:新潟日報)

忘れるな拉致・県民集会

十一月十五日、新潟市の市民芸術文化会館で「忘れるな拉致 11・15 県民集会」が開かれた。

この日は、当時十三歳の横田めぐみさんが新潟市で拉致されてから三十三年となった日。この間、ずっと娘との再会を願ひ続けて来た父・滋さん(78)、母・早紀江さん(74)

を採用し、内部が真空に作られたもので、保温効果・保冷効果がともに高く、飲みものの美味しさをそのままキープするすぐれもの。その表面は、雪の新潟を象徴するように雪の結晶風に仕上げられている。

東京のデパートなどで売られている同種の製品が外務省のAPEC担当者の目に留まったということ、メーカーのセブン・セブン社だけでなく、ここでもまた燕市の地場産業を世界にアピールし活気づける朗報として注目を浴びている。



忘れるな拉致 県民集会(写真提供:新潟日報)

をはじめ佐渡市の拉致被害者・曽我ひとみさん(51)らが、集まった市民およそ七〇〇人とともに「拉致を忘れるな」、「奪還へ多くの力を」と訴えた。

この日会場に集まった市民たちは、スクリーンに映されためぐみさんが家族と一緒に旅行を楽しみむ姿に目をうるませ、寄居中学(新潟市)一年生の一九七七年(昭和五十二年)に北朝鮮に連れ去られてからの長い年月と一歩も進まなくなっている拉致問題の現状に沈痛な思いを巡らせていた。

北朝鮮人民軍による砲弾が、韓国の軍事演習による水域侵犯に対抗する措置と称し延坪島(ヨンピョンド)に打ち込まれたのは、この八日後の十一月二十三日であった。拉致問題解決の道はさらに暗雲に包まれたと言わざるを得ない。

上海万博に山古志の錦鯉

五月一日から十月末まで催された中国の上海万博は、圧倒的なスケールで盛大に行われ、その幕を閉じたが、十月十三日から三日間行われた新潟フェア(新潟県・新潟市・長岡市主催)で、数々の産品が注目される中、山古志の錦鯉も「泳ぐ宝石」として大人気を博した。

展示されたのは、「紅白」や「大正三色」など代表的な錦鯉五匹だが、その鮮やかな色彩に目を奪われた人々からは「きれいで大きい」「こんな素晴らしい錦鯉は初めて見た」と、次々に賞賛の声があがり、大勢の観客が円形の水槽を悠々と泳ぐ錦鯉をのぞき込んでいた。

ただ、コイヘルペスの影響で、中国では錦鯉の輸入を禁止しているため、この展示そのものも実現が危



山古志の錦鯉は人気を集めた (写真提供：長岡市)

ぶまれていたもので、新潟フェアの目玉として特別に許可されたもの。お互いに大地震を体験、四川大地震では復興への支援を通して中国政府や四川省との交流を深めて来た長岡市としては、この出展を輸入解禁へのステップにしたいところだろう。

いずれにしても、万博という巨大な舞台で「山古志の錦鯉」を強力にブランド発信できたことは大きな一歩となった。

長岡花火を劇映画に

真夏の夜空を彩る長岡市の花火は、遠く一八七九年(明治十二年)

に始まったと言われているが、第二次世界大戦中の中断を経て戦後復活した時には、長岡大空襲(昭和二十年八月一日)の犠牲者の慰霊・鎮魂の願いを込めて再開された。

その伝統の花火に新しい展開が始まっており、注目が集まっている。まず、この花火を平和の懸け橋にしようという試みで、今年の三月に米国ハワイ州ホノルル市で、次いで明年春には首都ワシントンで打ち上げるべくその準備が進められている。

そして、もう一方では大林宣彦監督がメガホンを握り、脚本も手がけるという映画化の進行である。

この映画化については、長岡まつり実行委員会が働きかけ、大林監督



森長岡市長(左)と大林監督(写真提供：新潟日報)

が花火に込められた地元の思いを汲み取って実現へ踏み出したもので、「戦争を伝えられる最後の世代として、戦争の痛みや悲しみを次世代に伝えたい」と、ドキュメンタリーではなく、劇映画に仕上げて世に問うことになった。

このクランクインは今年七月にも始まる予定で、来春の完成が見込まれている。製作費はおよそ二億円で、昨年十月十二日に発足した制作委員会がその調達を推進、市民にもスタッフや出演者として関わってもらいたいと望んでいる。

ワシントンのポトマック河畔には日本から贈られた桜が今も咲き誇っており、その上空に花火も満開というシーンが展開されたら…と、想像するだけでも期待がふくらむが、平和の願いを長岡花火にからめたドラマにも、どんな筋書きが待っているのか、今から楽しみにしたい。

トキ放鳥、今年は二回を予定

佐渡市のトキ保護センター野生復帰ステーションで行われたトキの第三次放鳥は、昨年十一月一日から六日間続けられ、予定していた十四羽



待望のペアリングは… (写真提供：新潟日報)

のうち十三羽が順化ケージから飛び立って行った。

訓練を行ってきた順化ケージから自然に飛び立つのを待つという初めの方法で行われたこの第三次放鳥では、初日に雄三羽、雌三羽の計六羽が飛び立ち、二日目に五羽、三日目に一羽、六日目の十一月六日になつて三歳の雄一羽がケージを離れた。この時点で残った雄一羽は左翼の状態が思わしくなく、十分な飛行ができないと判断して保護、今回の放鳥を終了した。

今年(二〇一一年)は、春と秋の二回、二十羽ずつ計四十羽を放鳥する予定である。

(広報 池田 孝一郎)